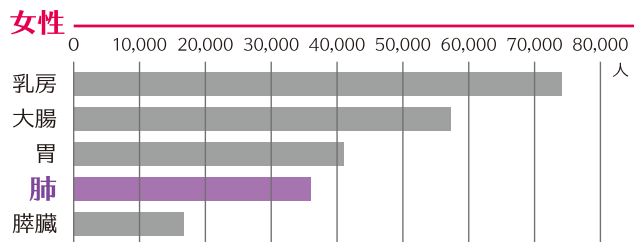
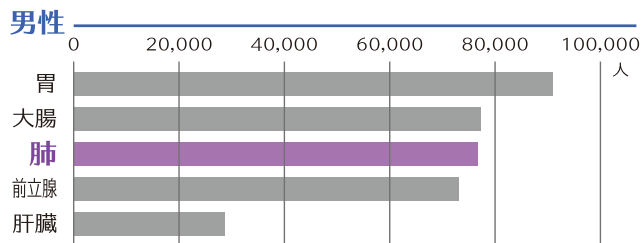


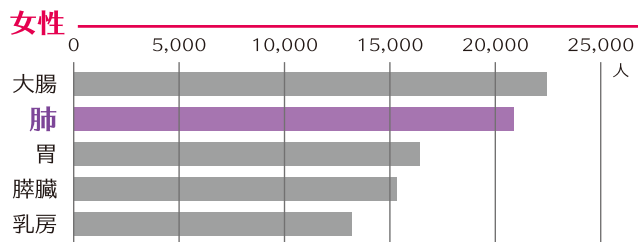
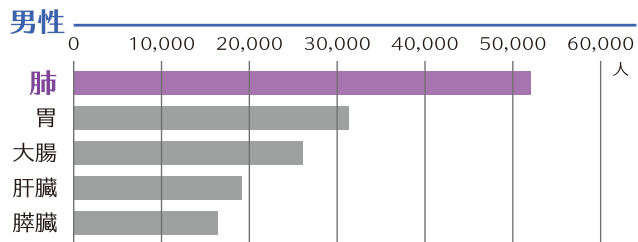
がんの罹患数順位（2012）

肺がんにかかる人は
男性で第3位、女性で第4位となっています。



がんの死亡数順位（2014）

肺がんによる死亡は
男性で1位、女性で第2位となっています。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

肺がんQ&A

Q. 放射線被ばくの心配はない？

A. X線写真撮影時の被ばく量はきわめて少なく、人体への影響を及ぼすほどではありません。ただし、妊娠中または妊娠の可能性のある方は受けられません。

Q. たばことの関係は？

A. 肺がん発症の最大の原因は喫煙です。たばこを吸う人は吸わない人に比べて、肺がんにかかるリスクが男性で4.5倍、女性で4.2倍高まることが分かっています。しかし、禁煙すると5年で肺がんにかかるリスクは半分になると言われています。健康のためにもぜひ禁煙にチャレンジしましょう。

Q. たばこを吸わない人は肺がんにはならない？

A. 肺がんは喫煙との関係が非常に深いがんですが、たばこを吸わない人でも発症します。また、周囲に流れるたばこの煙を吸う受動喫煙によって発症リスクが高まることも分かっています。

Q. 肺がん検診で精密検査と言われたら、がんなの？

A. 精密検査を受けても、実際にはがんではない確率の方が高いので、むやみに怖がる必要はありません。精密検査は肺がんを早期発見できるチャンスです。必ず受けましょう！

受けていますか？ 肺がん検診



がん予防キャンペーン大阪事務局

〒536-8588 大阪市城東区森之宮1-6-107

大阪がん循環器病予防センター内

TEL:06-6969-0676

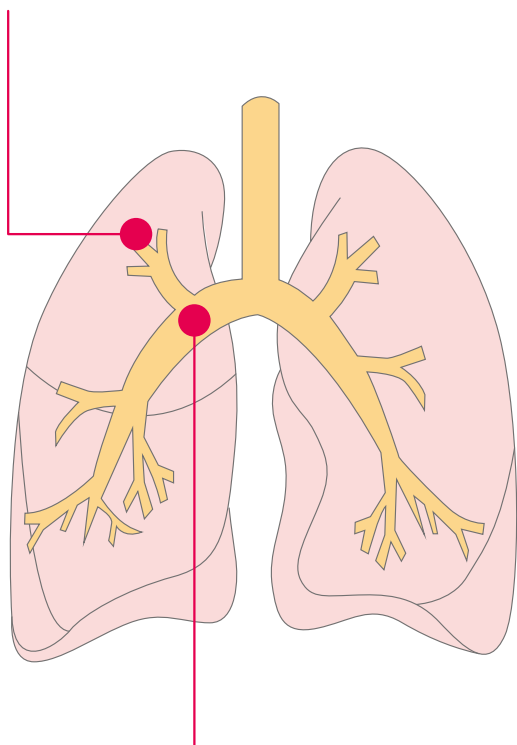
監修：兒玉 憲先生（八尾市立病院 特命院長）

肺がんの症状

早期の肺がんでは、自覚症状がないことがほとんどです。ただし、肺がんの種類によっては、なかなか治りにくい咳や痰、血痰、また風邪に似た症状が続く場合があります。

■発症部位

気管支の末梢にできるもの（肺野型）



太い気管支にできるもの（肺門型）

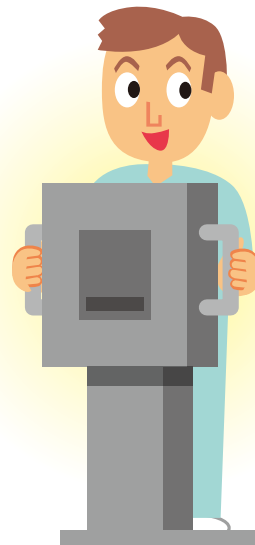
肺野型：タバコを吸わない人に多い。
症状の進行は比較的ゆっくりのことが多い。

肺門型：タバコを吸う人に多い。
症状は急速に進行しやすいものが多い。

検診内容

胸部X線検査

大きく息を吸い込んで膨らました肺の状態をX線で撮影します。撮影した画像を医師が診断します。主に肺野末梢部にできるがんの発見に適しています。



喀痰細胞診検査

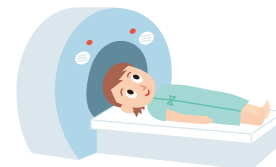
X線検査に加えて、喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上のハイリスクの人に行います。3日間の痰を採取し、痰の中にがん細胞が混じっているかどうか顕微鏡で調べる検査です。X線撮影で見つけにくい肺門部にできるがんの発見に適しています。



精密検査

胸部CT検査

体の周囲からX線を当てて、肺の断層をミリ単位の厚みで撮影します。コンピューター処理により、体を輪切りにしたような画像を撮影することができます。病巣の大きさ、形、内部構造などを正確に調べることができます。



気管支鏡検査

特殊な内視鏡を口や鼻から挿入し、気管・気管支の中やその周辺を観察します。



がんが疑われる場所の組織や細胞の一部を採って、がん細胞の有無やがんの種類を顕微鏡で調べる病理検査も行います。

治療

■外科手術

早期の肺がんで行われます。がんの場所や広がりによって、切除する範囲が変わります。

■放射線療法

高エネルギーの放射線を体の内外から照射してがん細胞を傷つけ、がんを治療します。

■抗がん剤療法

がんが増えるのを抑えたり、成長を遅らせたり、転移や再発を防いだりするために薬剤を投与します。手術や放射線療法が、がんに対して局所的な治療であるのに対し、抗がん剤はより広い範囲の治療効果が期待できます。

肺がんの病状によって、それぞれの治療法を組み合わせる治療を行うことがあります。